



【接種場所・予約】

【遠別町で受けられる定期予防接種】

乳児期に開始になるワクチン

ワクチン	期間 と 回数
5種混合 令和6年4月 定期化に なりました	生後2～90か月に至るまでの間に4回 ★標準的な接種期間: ・初回(1～3回目):2か月に達した時から12か月に達するまでの間に、 20日から56日までの間隔をおいて3回接種 ・追加(4回目):3回目終了後、12か月から18か月までの間隔をおいて1回接種 ※5種とは、ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ(インフルエンザ菌b型)に対応しています。 ※2期(ジフテリア・破傷風のための二種混合)は小学校6年生にて接種します。
小児用肺炎球菌	生後2か月～5歳に至るまで(接種開始時期により接種回数が異なります) 接種開始が…①生後2～7か月に至るまで－4回【望ましい開始時期】 ②生後7～12か月に至るまで－3回 ③生後1歳～2歳に至るまで－2回 ④生後2歳～5歳に至るまで－1回 ★標準的な接種期間: ・初回(1～3回目):生後12か月までに27日以上の間隔をおいて3回接種 ・追加(4回目):生後12か月～生後15か月に至るまでに1回 (ただし、初回接種終了後から60日以上の間隔をおき、生後12か月に至った日以降に行うこと) ※接種開始が、生後7か月以降となる場合の接種スケジュールについては、随時ご相談下さい。
B型肝炎	生後1歳に至るまでの間に3回 ★標準的な接種期間: 生後2か月に至った時から生後9か月に至るまでの間 ・1回目:生後2か月頃 ・2回目:生後3か月頃(1回目から27日の間隔をあける) ・3回目:生後7～8か月頃(1回目から、139日以上の間隔をあける)
ロタウイルス	次のア・イに該当する者 ア.1価(ㇰリックス)を使用:出生6週0日～24週0日後までの間の者－2回接種 イ.5価(ㇰテック)を使用:出生6週0日～32週0日後までの間の者－3回接種 ★標準的な接種期間: ・1回目:生後2か月に至った日から出生14週6日後までの間 ・2～3回目: ア.1価(ㇰリックス):27日以上の間隔をおいて1回接種 イ.5価(ㇰテック):27日以上の間隔をおいて2回接種 
BCG	生後1歳に至るまでに1回 ★標準的な接種期間: 生後5か月～8か月に達するまでの間に1回



■ 1歳以降に開始になるワクチン ■

麻しん 風しん (MR)	生後12～24か月に至るまでに1回 ★標準的な接種期間： 生後12か月から15か月(できるだけ早期接種が望ましい) 5歳以上～7歳未満で翌年小学校へ入学する年の間に1回(小学校入学前の1年間) ※事前に案内と予診票を送付します。
水ぼうそう	生後12～36か月に至るまでに2回 ★標準的な接種期間： ・1回目：生後12か月から15か月(できるだけ MR1期接種後速やかに接種) ・2回目：1回目接種後6か月から12か月経過した時期

■ 3歳以降に開始になるワクチン ■

日本脳炎	生後6～90か月に至るまでに3回 ★標準的な接種期間： ・初回(1・2回目)は、3歳に達した時から4歳に達するまでの期間 ・追加(3回目)は、4歳、初回2回目接種後から、6か月～12か月経過した時期 ※2期接種は、9歳以上13歳未満の間(小学校4年生頃)に実施します。
------	--

<任意予防接種>

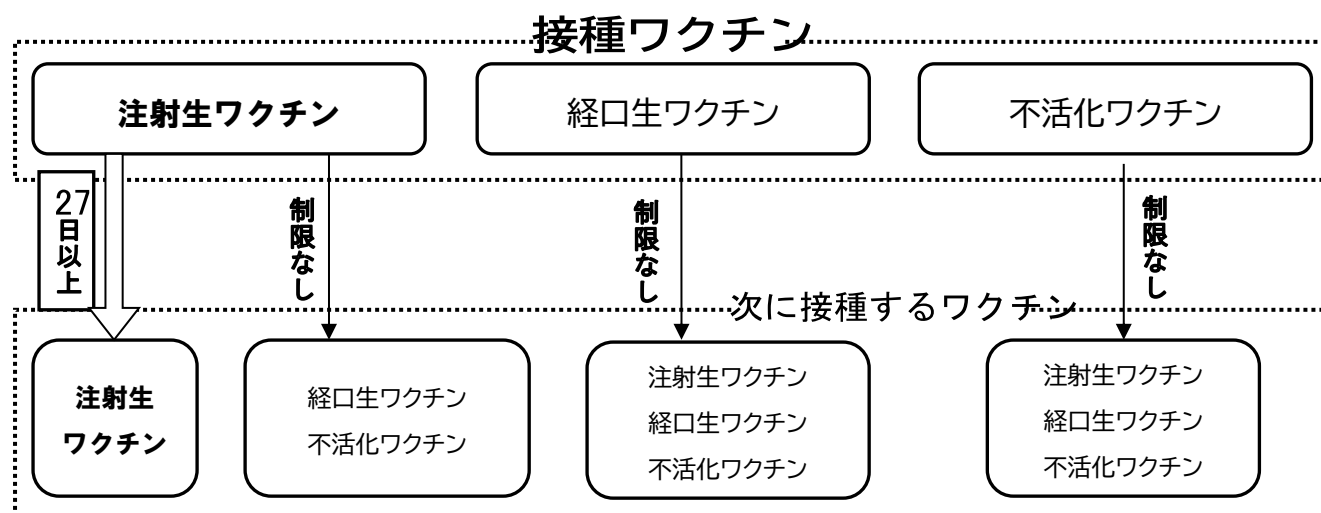
○任意による予防接種(おたふくかぜ・インフルエンザ 等)を受ける場合も、診療所に直接お問い合わせ下さい。

なお任意接種は、定期接種を受けそびれないスケジュールで接種してください。

※おたふくかぜ 1 回分は無料です。

<異なるワクチンの接種間隔>

○注射の生ワクチン<BCG、麻しん・風しん、おたふくかぜ、水ぼうそう等>の接種後、他の注射の生ワクチンの接種を受ける時は、「27 日(4 週間)以上あけてから」接種してください。



※新型コロナウイルスワクチンについては、前後2週間他のワクチンを受けることができません。

<接種前の注意>

予防接種は健康な人が元気なときに接種を受け、その病原体の感染を予防するものですから、体調の良いときに受けるのが原則です。次の注意を守って、お子さんが安全に予防接種を受けられるよう、保護者の皆さんもご協力ください。

1. 予防接種を受けに行く前に、必ず「予防接種と子どもの健康」をよく読んでください。
2. 「予診票」は、お医者さんへの大切な情報です。責任をもって記入してください。
※現在、何らかの病気で医療機関にかかっている人は、主治医に十分相談してください。
3. 母子健康手帳は持ちましたか？ ※念のため保険証も持ちましょう。
4. 当日は朝から子どもの状態をよく観察し、普段と変わったところがないか確認してください。
接種の予定をしても、体調が悪いと思ったらやめる勇気も必要です。
※接種会場で測定した体温が 37.5℃以上の場合は、接種することができません。
5. 接種を受ける子どもの健康状態をよく知っている保護者が同伴してください。

<接種後の注意>

1. 予防接種を受けたあとは、しばらく子どもの様子を観察しましょう。
※軽度の発熱や接種部分が赤くなったり、しこりができたりすることがありますが、通常の反応です。しかし、高熱が出たり、けいれんなどの異常な症状が出た場合には速やかに医師の診断を受けてください。この場合は、福祉課保健指導係にも連絡してください。
2. 接種当日は、激しい運動は避け、不活化ワクチンは接種後 24 時間、生ワクチンは接種後 2～3 週間は健康状態に注意しましょう。
3. 接種部位は清潔に保ってください。
また、入浴は差し支えありませんが、わざと注射した部位をこすることはやめましょう。
4. 接種後1か月間は、抜歯、扁桃(へんとう)摘出、ヘルニア手術はさけましょう。

予防接種の個別スケジュールについては、新生児・乳児訪問や乳幼児健診・相談等の機会にお話していますが、分からないことがありましたら、いつでもご相談ください。

福祉課 保健指導係 保健師(役場庁舎 1F) TEL : 7-2125(テレビ電話可)